

第21回

下田歌子賞作品募集

募集テーマ



書：神谷慎軒

応募締切

令和5年9/7 木

当日消印有効

郵送・Eメール・インターネットで応募できます。

この歌は、わが国近代女子教育の先駆者といわれる下田歌子先生が、大きな夢と青雲の志を抱いて、16歳でふるさと岩村を離れ、東京へと旅立った時の歌です。

綾錦 着てかへらずば 三國山
またふたたびは 越えどぞ思ふ



エッセイの部

具体的なエピソードを添えた作品をお送り下さい。応募は1人1作品に限ります。

●原稿枚数

- 一般の部…2,000字程度
(400字詰原稿用紙5枚程度)
- 中高生の部…1,200字程度
(400字詰原稿用紙3枚程度)
- 小学生の部…800字程度
(400字詰原稿用紙2枚程度)

※字数には、改行等による空白も含まれます。

●各賞

- 〈一般の部〉
 - 最優秀賞…1編 副賞：賞金10万円
 - 優秀賞…3編 副賞：賞金3万円
 - 佳作…5編 副賞：賞金1万円
- 〈中高生の部〉
 - 最優秀賞…1編 副賞：図書カード1万円分
 - 優秀賞…3編 副賞：図書カード5千円分

- 佳作…5編 副賞：図書カード3千円分
- 〈小学生の部〉
 - 最優秀賞…1編 副賞：図書カード5千円分
 - 優秀賞…3編 副賞：図書カード3千円分
 - 佳作…5編 副賞：図書カード2千円分
- ※奨励賞…上記の他、特に努力が評価できる作品 ※学校賞…応募作品が顕著に多い学校

短歌の部

応募は1人1首に限ります。

●各賞

- 〈一般の部〉
 - 最優秀賞…1首 副賞：賞金2万円
 - 優秀賞…1首 副賞：賞金1万円
 - 入選…3首 副賞：賞金5千円

- 〈中高生の部〉
 - 最優秀賞…1首 副賞：図書カード5千円分
 - 優秀賞…1首 副賞：図書カード3千円分
 - 入選…3首 副賞：図書カード2千円分

- 〈小学生の部〉
 - 最優秀賞…1首 副賞：図書カード3千円分
 - 優秀賞…1首 副賞：図書カード2千円分
 - 入選…3首 副賞：図書カード1千円分

選考委員

- 童門冬二(作家) ●吉田公平(東洋大学名誉教授) ●初風 緑(元宝塚歌劇団・恵那観光大使)
- 難波雅紀(実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長) ●寺田昭一(PHP研究所・月刊誌「歴史街道」特別編集委員) ●小坂喬峰(岐阜県恵那市長)

表彰式 令和6年1月27日(土) 於 実践女子学園(東京都渋谷区)

応募先・問い合わせ先 恵那市教育委員会 生涯学習課「下田歌子賞」係

郵送 〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

インターネット 恵那市HPから「下田歌子賞」で検索→

Eメール syo-gakusyu@city.ena.lg.jp (タイトルに「下田歌子賞」と明記)



- 主催 恵那市先人顕彰事業「下田歌子賞」実行委員会、学校法人実践女子学園、岐阜県恵那市、恵那市教育委員会 ●共催 株式会社PHP研究所
- 後援 岐阜県教育委員会、多治見市教育委員会、土岐市教育委員会、瑞浪市教育委員会、中津川市教育委員会、東京都日野市、日野市教育委員会、
- 鳴鳴協議会(恵那市、大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曽町、高鍋町、多久市、東海市、日田市、養父市、米沢市)

応募方法

作品のタイトル(エッセイの部のみ、短歌の部は不要)、氏名(ふりがな)、年齢(児童・生徒の場合は学校名・学年)、性別、住所、電話番号、募集をどのようにお知らせになったかを明記した任意の用紙を添付して、下記のいずれかの方法でお送りください。

①郵送：〒509-7292

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

恵那市教育委員会 生涯学習課「下田歌子賞」係

②Eメール：syo-gakusyu@city.ena.lg.jp

(タイトルに「下田歌子賞」と明記願います。)

③インターネット：恵那市ホームページから「下田歌子賞」で検索し、所定のフォームでお送りください。→

※ファクスでの応募は受け付けません。



応募上の注意

- 応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります。
- 著作権の問題が生じた場合は、応募者本人の責任となりますのでご注意ください。
- 著作権の問題や二重投稿等が判明した場合は入選を取り消します。
- 入選者には12月上旬までにご連絡をいたします。
- 応募作品は返却いたしません。
- 審査及び結果に関するお問い合わせには応じかねます。
- 入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- 入選作品は、作品、作者名、作者居住市区町村名(小中高生の場合は所属学校及び学年)を主催者・共催者のウェブサイト、受賞作品集、新聞・雑誌等で公開します。
- 表彰式の様子は、主催者・共催者のウェブサイト、YouTube等で一定期間動画配信を行います。
- 応募作品は、個人情報に抵触しない範囲で、募集テーマに関する傾向分析資料などに利用させていただくことがありますのでご了承ください。
- 本募集によって主催者が取得した個人情報、本事業以外の目的では使用しません。

表彰式

- 令和6年1月27日(土)、実践女子学園(東京都渋谷区)で発表・表彰式。「一般の部」最優秀賞受賞者、「小学生の部」「中高生の部」最優秀賞および優秀賞受賞者と保護者1名は、発表・表彰式にご招待しますのでご出席ください。

下田歌子先生について

わが国女子教育の先駆者で、歌人としても名高い下田歌子先生は、安政元年(1854年)美濃国岩村藩(現在の恵那市岩村町)に生まれました。幼い頃より和歌を詠み、漢詩を吟ずるなど学才に恵まれ、明治4年(1871年)16歳のとき父の後を追って上京。翌年宮中に女官として出仕し、その和歌の才能を愛でられた皇后陛下(後の昭憲皇太后)から「歌子」の名を賜りました。

明治12年(1879年)に宮中を辞した後、自宅に学校を開設して女子教育に力を注ぎ、明治18年(1885年)に創立された華族女学校では学監兼教授を務めました。2年余の欧米女子教育視察を経て、明治32年(1899年)に私立実践女学校(現在の実践女子学園)と女子工芸学校を創立しました。その後も、女性の自立自営をめざして、裁縫学校や夜間学校を各地に設立するなど、新しい時代の女子教育に一生を捧げ、昭和11年(1936年)82歳の生涯を閉じました。

下田歌子先生が遺した言葉「女性の清らかな徳性と豊かな情操をもって社会の弊を正せ」や「揺籃(ようらん)を揺がすの手は以て能く、天下を動かすことを得べし」に代表されるように、下田歌子先生は高い志を持って近代日本の女性の地位向上に力を尽くしました。

●下田歌子先生についてはこちら

学校法人実践女子学園HP →



下田歌子賞について

下田歌子賞は、平成16年(2004年)に下田歌子先生の生誕150年を迎えるにあたり、先生のふるさとである旧岩村町(現在の恵那市岩村町)が岐阜県、実践女子学園およびPHP研究所の協力を得て、先生の業績を顕彰しつつ、エッセイ募集を通して、現代人の生き方や考え方、教育のあり方などを共に考え、学ぶために設けた公募賞です。第8回からは、先生に因んで短歌募集も加わりました。

おうめい

嚶鳴協議会とは

ふるさとの先人をまちづくり、人づくり、心そだてに活かしている自治体に参加する協議会。昨年(令和4年)11月に恵那市の先人で、西郷隆盛をはじめ幕末維新に活躍した人々にも影響を与えた儒学者・佐藤一斎先生の生誕250年を記念して「嚶鳴フォーラム in 恵那2022」が開催されました。

●嚶鳴協議会HP →



原田芳洲画「下田歌子先生肖像」
(岐阜県恵那市蔵)